

ドクターヘリの安定的かつ持続的な発展のための決議

平成十三年の本格的運航開始以来、ドクターヘリは国民の生命を守る極めて重要な役割を果たしてきた。現在、国内では五十七機が導入されたことで実質的な全国配備が完了し、あまねく必要な救急医療を提供する体制が実現している。また、人口減少が深刻化する中で、ドクターヘリは地域医療体制の一翼を担う極めて重要な手段となっている。

他方、昨今のインフレや人手不足等の影響を受け、燃料・機体部品価格や人件費等の急激な高騰により運航経費は上昇を続けている。さらに、運航開始から既に二十年超が経過し、老朽化した機体の更新は喫緊の課題である。また、運航現場における長時間労働が恒常化しており、操縦士・整備士等の運航従事者に過度な負担が課されている。更に、この度の医療搬送用ヘリの事故により患者・家族、搭乗医師が犠牲となったことは痛恨の極みである。

そこで、将来にわたりドクターヘリの安定的かつ持続的な発展を通じて国民の生命を守り抜くため、以下の取り組みを求めることを決議する。

一 ドクターヘリのさらなる安心安全な運航に必要な体制を確立すること。
安全運航に必要な指標を定め国民に開示するとともに、緊急時の対応訓練等を実施するための財政措置を行うこと。

二 ドクターヘリの出勤件数・運航時間を的確に把握するとともに、燃料・機体部品価格や人件費等が急激に高騰している現状を踏まえ、補助基準額を継続的に見直すこと。

三 ドクターヘリの機体の計画的な更新が可能となるよう必要かつ十分な費用を補助基準額に計上すること。

四 機体不具合時における代替機の提供責務が過度な負担となっている実態を把握し、適切な財政措置ないし制度設計を行うこと。

五 操縦士・整備士等の安定的な確保のため必要な措置を検討すること。

六 ドクターヘリ運航従事者の恒常的な長時間労働を是正するため、適切な措置を検討すること。

令和七年五月二十六日

ドクターヘリ推進議員連盟